

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
- ③ 様々な教育活動において、保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1)地域の教育力を生かした特色ある教育活動

#### ① 地域の方による「希望の池」整備

本年度は、地域の方や保護者の協力を得て、「希望の池」の環境整備をしていただきました。池が整備されたことで、多くの児童が池周をのぞき込んで、魚や虫などが生育する様子を観察しています。



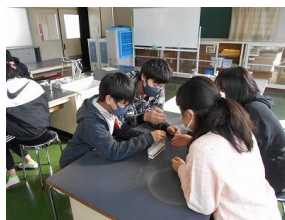
#### ② 図書館ボランティアによる取組

保護者・地域の皆様に、『図書館ボランティア』として登録していただき、管理・整備グループ、飾り付けグループ、読み聞かせグループの3つのグループに分かれて、子どもたちの読書活動の充実のために取り組んでいただいています。

各学期の読書週間の取組や新刊や学習にかかわる本の展示等子どもたちが図書に興味を持つような図書館環境づくり、読み聞かせ等を行っていただきました。

### ③ 地域の方によるゲストティーチャー「5年生理科」

地域在住の理科教育の専門家の先生に来ていただき、4・5・6年生において、理科専科と協働した授業をしていただきました。



### ④ 地域に学ぶ「富洲原探検隊（町たんけん）」

3年生は、社会科や総合的な学習の時間で、地域の町探検に出かけ、地域の店や神社、漁港などに出向き、直接お話を伺ったりして、聞いたことをまとめたりしました。

例年、4年生は、防災学習として、富洲原消防分団の方やに来ていただき、地域のために活動されているみなさんの様子を学習したり、地区自主防災隊と毛布を使った簡易担架の作り方や非常食の炊き出しなどを体験する合同訓練を行っていますが、今年度は中止となりました。

## (2) 地域団体との連携 地域行事への積極的な参加

### ① 地区見守り隊等による登下校の安全確保

保護者の旗当番、地区見守り隊、民生児童委員さんたちによる登下校の安全指導等、子どもたちの見守りや安全指導を行っていただきました。

毎年、子どもたちが楽しみにしている地域の行事や、祭り、地区の垣根を越えて行われている「とみすはら大運動会」など、今年は多くの地域行事が中止となってしまいました。地域の行事が開催できるようになったら、子どもたちに行事参加を積極的に呼びかけいきます。

## (2) 富洲原中学校区コミュニティスクール(愛称「三錨CS」)としての取り組み

富洲原中学校区では小中学校が連携して「富洲原中学校区コミュニティスクール(愛称「三錨CS」)」を運営しています。愛称の「三錨」は、富洲原の三地区を3つの錨で表し、それぞれの地区がしっかりと組んでよりよい地域を築いていくことの象徴で、富洲原小学校と中学校の校章のモチーフでもあります。富洲原中学校区コミュニティスクールを通じて、地域・家庭・小中学校が一体となった学校づくりにさらに取り組んでいきます。

### ① 学校創立記念式典

毎年6年生児童・職員・PTA役員が参加して「創立記念式典」を行っています。地域の学校に寄せる「願い」や、卒業生（三錨会会員）の「思い」が脈々と受け継がれている、富洲原小学校ならではの取り組みです。

### ② 富洲原保育園・富洲原幼稚園との交流

保・幼・小合同で、津波避難階段を使って小学校の屋上に避難する「避難訓練」を行いました。毎年、富洲原保育園・幼稚園の年長組園児の皆さんに来ていただき開催している交流会は、今年度は中止となりました。

毎年、本校全児童に加え、富洲原保育園・幼稚園の年長組園児、そして富洲原中学校3年生の皆さんに来ていただき、伝統ある建物の「講堂」で行っている音楽集会は、今年度は中止となりました。

### (3)コミュニティスクール(運営協議会)の取組による効果

今年度も、地域の方のご協力を得て、理科や地域学習、学校の環境整備等の充実を図ることができました。計画していた行事の多くが、感染症拡大防止のため残念ながら中止となりましたが、今後も地域との関わりを深め、地域とともにある学校という認識を深める取り組みを進めていきます。

また、「四日市版コミュニティスクール」委託の5年目、富洲原中学校区コミュニティスクールとして発足して3年目となり、家庭・小中学校が一体となった学校づくりを推進してきました。年間5回のコミュニティスクール運営協議会は小中学校合同で開催し、運営協議会とあわせて、小・中学校それぞれの様子や様々な角度からご意見をいただき、教育活動に反映することができました。

保護者や地域の方々に子どもたちの様子を見ていただいたり、直接言葉をかけていただいたりすることで、学校や子どもたち自身が様々な方に認められていることを実感でき「地域に学び、地域を愛す」気持ちを高めることにつながりました。

## 3 今後に向けて

今後も四日市版コミュニティスクール推進に向けて、取組を検討し様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。

コミュニティスクール推進のために、保護者の皆様だけでなく地域の方々にも様々な情報を適切に発信していく必要があります。今後も学校だより等の各種たよりの発行や、学校ホームページでの情報発信を通して、地域に積極的に情報発信をしていきます。そして、学校・地域・保護者・各校園がさらに連携を深め、「地域に学び、地域を愛し、地域の未来を創造する子ども」という目指す児童像に向かって、取り組んでいきたいと考えています。

## 令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 富洲原小学校

委員長 伊藤 敏彦

校長 松野 高彦

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会	I 校長挨拶及び委嘱状手交 II 議事 (1) 委員長・副委員長の互選 (2) 「学校づくりビジョン」について 各担当より説明・承認
6	第2回運営協議会	I 授業参観 II 報告・協議 (1) 学校の現状について (2) 授業参観後の感想および意見交流・情報交換
7		
8		
9	第3回運営協議会	I 報告・協議 (1) 教育活動前半の総括 ・全国学力学習状況調査及びNRTの結果に基づく自校の状況分析について ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 について
10		
11	第4回運営協議会	I 報告・協議 (1) 学校の様子について意見交流・情報交換
12		
1		
2	第5回運営協議会	I 報告・協議 (1) 「教育活動に関するアンケート」等の報告 (2) 「学校関係者評価」について (3) 意見交流・情報交換
3		